

2021年4月30日（金）

## 乳がん啓発・ピンクリボン活動の18年 第58回ギャラクシー賞報道活動部門に入賞

HTBが2003年から継続して取り組んでいる乳がん啓発・ピンクリボン活動が、第58回（2020年度）ギャラクシー賞\*下期選考会において、報道活動部門入賞しました。今回、入賞した「ピンクリボン活動の18年（おっばい2つとってみた その前と後）」は、HTBが応援活動を行っている乳がん早期検診の啓発活動「ピンクリボン活動」について、18年間に及ぶ活動をとりまとめたものです。

既に同賞テレビ部門奨励賞を受賞したHTB制作のドキュメンタリー、HTBノンフィクション「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」（2020年4月4日（日）放送）を制作するなど一連の活動の中心を担ってきた阿久津友紀ディレクターは「18年前、『がん患者が生きづらい社会』と一人の患者さんに言われ衝撃を受けました。自分自身が患者になった時、より深くその意味を理解できました。様々なご縁を大切に、がんに限らずこれからも一人でも多くの方が生きやすい世の中になるように活動を続けたいと思います」と話しています。また、HTBノンフィクション「介護崩壊～救えなかったクラスター～」（2020年11月8日（日）放送）が、同賞テレビ部門奨励賞を受賞しました。

同賞贈賞式は6月2日（水）にオンラインで開催され、HTBを含む報道活動部門入賞作6作品の中から大賞、優秀賞、選奨が発表されます（放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信予定）。

\*ギャラクシー賞はNPO法人放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために1963年に創設した日本を代表する番組コンクール。テレビ、ラジオ、CM、報道活動の4部門からなり、放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する志賀信夫賞、視聴者の参加により選ばれるマイベストTV賞が設けられている。報道活動部門は、放送における報道活動のあり方を議論し、優れた活動に光をあてるとともに、地域の放送ジャーナリズムの活性化を支援していこうと2003年に設立された。

※プレスリリースに関するお問い合わせ  
HTB 編成部 山崎  
TEL : 011-205-7666  
メール:yuyamazaki@htb.co.jp

（発行元）社長室

